



ABOUT US SUBSIDIARIES SUSTAINABILITY FOUNDATION PRESS ROOM INSIGHT CAREERS



(写真) YILDIRIM “トルコ「El Grupo Yildirim」

ROBERT YÜKSEL YILDIRIM

President And CEO

Robert Yüksel YILDIRIM is the President and CEO of YILDIRIM Group of Companies. He was born in Sivas, Türkiye in 1960. He received his bachelor's degree in Mechanical Engineering from Istanbul Technical University in 1983. In 1989, he received his Master's degree in Mechanical Engineering from Oregon State University. He began his career as a Design and Project Engineer at Paceco Corporation, working for five years at the container crane manufacturing firm.

Yüksel YILDIRIM joined the management board of the family-owned company in 1993. The same year, he conducted the first international achievement of the company, directly importing coal from Russia. Yüksel YILDIRIM led the group in new initiatives in the 2000s, and in 2008, the Group made its first international acquisition in Sweden.

ベネズエラに7.5億ドル投資し工場を建設か”

2024年6月26日（水曜）

政治

「[ボリビアでクーデター未遂事件](#)
～マドゥロ大統領 武力による政権交代批判～」

経済

「[Bloomberg トルコ企業が7.5億ドル投資](#)
～年60万トンのアンモニア工場の建設計画～」

「[ベネズエラ OPEC 基金の副議長国に就任](#)」

「[ベネズエラ 石油以外の有力な代替産業は](#)」

「[Cavecom-e 企業家の94%はデジタル関連](#)」

社会

「[ペルー 7月2日ベネズエラ人の入国要件変更](#)」

2024年6月27日（木曜）

政治

「[在ベネ垂大使館でクーデター計画が進行中？](#)
～投票場に武装組織を乱入させ選挙を混乱～」

「[ロドリゲス議長 選挙延期の提案を拒絶](#)」

「[MCM氏・マドゥロ大統領の選挙演説の様子](#)」

経済

「[Ecopetrol 来年からベネ産ガスの輸入を開始](#)」

「[PDV Holdings 競売 7月15日に結果出ず？](#)」

「[Consecomercio Chevron の活動は期待外れ](#)」

社会

「[タチラ州 豪雨災害で64軒が土砂崩れ](#)」

2024年6月26日（水曜）

政治

「ボリビアでクーデター未遂事件
～マドゥロ大統領 武力による政権交代批判～」

6月26日 ボリビアで軍部によるクーデター未遂事件が起きた。

同日、フアン・ホセ・ズニガ将軍率いるクーデターグループは、政府施設が集まるムリージョ広場に装甲車を配置。

ルイス・アルセ大統領に対して、閣僚交代と民主主義の再構築、政治犯の解放などを求めた。

ズニガ将軍は大統領府に突入し、アルセ大統領と対峙したが、アルセ大統領は撤退を命じたという。



(写真) ルイス・アルセ氏 X

最終的に装甲車は撤退し、ズニガ将軍は逮捕され、クーデターは失敗に終わっている。

現時点で同クーデターに関与したとの理由で逮捕されているのは17名だが、クーデター参加者はもっと多く、更なる逮捕者がでるとみられる。

今回のクーデター未遂事件について、各国はクーデターを批判しており、アルセ大統領への連帯を表明している。ただし、ボリビアの Edmundo Novillo 防衛相は「外国の介入の可能性は否定できない」としており、ボリビアの地下資源を狙う外国グループが暗躍している可能性を指摘している。

なお、ボリビア国内においては、クーデターを速やかに収束させたアルセ大統領の評価が上がった。

ただし、ズニガ将軍が「支持率を上げるためにアルセ大統領から装甲車を動かすよう命令を受けた」と記者団に説明している動画が拡散されている。

ズニガ将軍の発言が事実だったと仮定すると、ズニガ将軍はアルセ大統領の支持者だったことになり、「アルセ大統領から指示を受けた」と暴露をすることに矛盾が生じる。

クーデターの失敗を認識したズニガ将軍が世論を混乱させるためメディアに対して前述の発言をしたと考えるのが自然ではあるが、現時点では確定的な情報はない。

アルセ政権と友好的な関係にあるマドゥロ大統領は今回のクーデターを批判。クーデターにより国の秩序を乱し、政権交代を試みる極右グループを批判した。

マドゥロ大統領の発言は、アルセ大統領を擁護する趣旨ではあるが、大統領選を前に軍部クーデターの可能性が高まっているベネズエラを想定した発言でもある。

経済

「Bloomberg トルコ企業が7.5億ドル投資 ～年60万トンのアンモニア工場の建設計画～」

「Bloomberg」は、トルコ企業「El Grupo Yildirim」が7.5億ドルを投資し、年間60万トンのアンモニアを生産できる工場を建設すると報じた。

Bloomberg が匿名関係者から得た情報によると、El Grupo Yildirim と Pequiven がこの投資計画について署名を締結したという。

ただし、現時点では工場建設は設計の段階であり、完成の日程は決まっていないようだ。

「El Grupo Yildirim」は、海運分野の巨大会社 CMA の24%の株式を保有しているという。代表は ROBERT YÜKSEL YILDIRIM 氏という人物。

トルコ、ノルウェー、ポルトガル、クロアチア、ペルー、エクアドル、グアテマラなどの港湾の建設に関与し、米国、コソボ、アルバニア、カザフスタン、ロシアなどで鉱物系の工場を保有しているという。

なお、本件については、6月7日の時点でマドゥロ大統領がコメントしていた。当時、マドゥロ大統領はアンモニア工場だけではなく、GOLD、天然ガスの開発に関する合意も交わしたと言及していた（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1074](#)」）

「ベネズエラ OPEC 基金の副議長国に就任」

第45回 OPEC 国際開発基金（OFID）が実施され、ベネズエラは同基金の副議長国（2024～25年）に就任した。

OFID は、1976年に OPEC 加盟国により創設された多国籍金融組織。本部はウィーンにある。非加盟国への資金供給を行い、食料・エネルギー・インフラ・雇用（中小企業関連）・水・医療・衛生・教育などのニーズに対応するプロジェクトを支援している。



Román Maniglia
@romanmanigliave

Cumpliendo las instrucciones del Pdte [@nicolasmaduro](#) participamos en el 45º Consejo Ministerial del Fondo OPEP para el Desarrollo Internacional (OFID), en el que Venezuela asume la Vicepresidencia para el período 2024-2025 de esta instancia.

[Translate post](#)



（写真）Roman Maniglia 保険証券デジタル経済次官

「ベネズエラ 石油以外の有力な代替産業は」

「ベネズエラ金融観測所（OVF）」は、「ベネズエラ再建のためのアイデア」というタイトルのフォーラムを開催。

同フォーラムに登壇したベネズエラの経営大学院「高等行政研究所（IESA）」の José Manuel Puente 教授は、石油産業以外の代替産業を振興する必要性について指摘した。

Puente 教授は潜在性の高い産業として、「熱帯果物」「石油化学」「エビ」「漁業」「観光」を挙げた。また、サウジアラビアの事例をあげ、サウジアラビアは「観光」と「クリーンエネルギー」を振興し、石油の代替産業の創出を試みていると説明した。

「Cavecom-e 企業家の94%はデジタル関連」

ベネズエラ E コマース商工会(Cavecom-e)の Richard Ujueta 代表は、ラジオのインタビュー番組に出演。

ベネズエラには450万人の起業家がいると説明。世界で9番目に起業家が多い国だと指摘した。

また、Ujueta 代表によると、ベネズエラの起業家の94%はデジタル関連の事業だという。

「ベネズエラは常に起業家が多い国だったが、昨今のベネズエラの状況は起業家の後押しをしている」

「極めて深刻な経済危機から脱却しようとしており、この変化のタイミングで大きなチャンスが生まれている」

「多くの若者が、日々の問題を解決するために津波のように新たなチャレンジをしている」

とコメントした。

社 会**「ペルー 7月2日ベネズエラ人の入国要件変更」**

ペルーの「国家移民監督庁」は、7月2日からペルーに入国するベネズエラ人は、期限が切れていないパスポートとビザの提出が必要になると発表した。

深刻な経済危機の中、2018年頃から多くのベネズエラ人がコロンビア・ペルーなど隣国に移住した。

また、ベネズエラ側では、「パスポート作成用の紙が調達できなくなる」、「外国政府がマドゥロ政権をベネズエラ政府と認識しないため、移民関連の連携が停止する」などの理由からパスポートの更新が止まり、パスポート期限が切れるベネズエラ人が多くなった。

この状況の対応策として、各国政府は、パスポートの有効期限が切れていてもそのパスポートを有効と認識するなどの例外措置を講じていた。

ペルーも特例措置を講じていた国の1つで、2019年6月から期限切れのベネズエラのパスポートを有効なパスポートとして処理していたが、5年超が経過した7月2日をもってこの特例措置がなくなることになる。

なお、ビザは在ベネズエラ・ペルー領事館で発行を受ける必要がある。

2024年6月27日(木曜)**政 治****「在ベネ亜大使館でクーデター計画が進行中？」****～投票場に武装組織を乱入させ選挙を混乱～**

6月27日 ホルヘ・ロドリゲス国会議長は、野党グループ「統一プラットフォーム (PUD)」が、クーデターを計画していると訴えた。

ロドリゲス議長によると、クーデター計画は在ベネズエラ・アルゼンチン大使館にかくまわれている「Vente Venezuela」の党员 Magalli Meda 氏と Humberto Villalobos 氏らが計画しているものだという。

24年3月 マドゥロ政権は、Magalli Meda 氏、Humberto Villalobos 氏など7名に指名手配をかけた。これを受けて、在ベネズエラ・アルゼンチン大使館は、6名を保護している(「[ベネズエラ・トゥデイ No.1040](#)」「[No.1041](#)」)。

「彼らは投票率高い大投票会場にバイク乗りを送り込もうとしている」「彼らは投票場をカオスにすることで、選挙を破壊しようとしている」「彼らが在ベネズエラ・アルゼンチン大使館で計画している証拠を持っている」

「全ての企てが在ベネズエラ・アルゼンチン大使館で進行している」「彼らはベネズエラが厳格に守っている全ての国際法を違反している」「アルゼンチンに対して内政干渉をせず、亡命規則の尊重を求める」と訴えた。

ただし、ロドリゲス議長は「証拠」については提示していない。

「ロドリゲス議長 選挙延期の提案を拒絶」

「ベネズエラ・トゥデイ No.1079」にて、穏健野党系の国会議員 Jaime González 氏が「米国の経済制裁が解除されるまで、選挙を延期するべき」との提案を行ったとの記事を紹介した。

6月27日 本件について、ロドリゲス国会議長は「正気ではない」との見解を示し、7月28日の大統領選を延期する考えがないことを改めて強調した。

「何を言っているか理解できないし、私からすればそのような提案をする人の正気を疑う」「チャビスタは大統領選に参加し、国民と共に選挙結果を守る」との見解を示した。

「MCM 氏・マドゥロ大統領の選挙演説の様子」

ここ最近、選挙キャンペーンの様子について記事で紹介していなかったが、現在もマリア・コリナ・マチャド氏（以下、MCM）は地方の遊説を続けており、エドムンド・ゴンサレス氏はカラカス市内を中心に行脚しており、インタビューを積極的に受けている。

MCM 氏は移動中に妨害行為を受けるなど小規模な問題は散見されるが、選挙キャンペーン自体は継続できている。

6月27日 MCM 氏は、タチラ州 La Fria を訪問。大勢の支持者らの前でエドムンド・ゴンサレス候補への投票を呼び掛けた。



（写真）MCM 氏 X “タチラ州 La Fria での演説”

一方、6月27日 マドゥロ大統領は、スリア州の州都 マラカイボを訪問。支持者に対して極右グループと対峙し、投票と民主主義を守るよう要請した。



（写真）大統領府 X

マドゥロ政権による野党関係者への嫌がらせや圧力はあるが、選挙戦自体は与野党支持者が衝突するなどの暴力的な事件はなく、平和的に進んでいる印象だ。

経済

「Ecopetrol 来年からベネ産ガスの輸入を開始」

6月27日 コロンビアのエネルギー会社「Ecopetrol」のRicardo Roa社長は、今後10年間のコロンビアのエネルギー計画を説明。

その中で、2025年からベネズエラ産の天然ガスの輸入を開始するとの見通しを示した。

Roa社長によると、2025年から3000～5000万立法キューブの天然ガスをコロンビアとベネズエラをつなぐパイプライン「Antonio Ricaurte」を通じて輸入するという。

なお、輸入量は少しずつ増やしていき、2年後には1.5億立法キューブにすることを目標にしている。

同計画は既に進行しており、いくつかのステージは終了し、10～14カ月後には輸入を開始できる状態にあるという。

ただし、「計画を実行に移すためにはOFACのライセンスが必要」と指摘。ガス販売に関する規則を変更すると同時にライセンスを取得する必要があるとの見解を示した。

なお、2029年にはベネズエラ海域にある天然ガス地帯Uchuva、Gorgon、Glaucusなどからも天然ガスの輸入が可能になると期待を示した。

「PDV Holdings 競売 7月15日に結果出ず？」

CITGOの株式を100%保有する「PDV Holdings」の競売結果が7月15日に発表される予定になっている。

本件について、「ロイター通信」は、内部関係者からの情報として、競売の結果発表は延期することになると報じた。

ロイター通信によると、競売は裁判所が当初想定していたよりも複雑な状況になっているようで、7月15日までに全ての課題をクリアすることができないという。

また、CITGOの株式50.1%が担保に設定されているPDVSA20の債券者の扱いがどのようになるか不確定な部分があり、問題を更に複雑にしているという。

「Consecomercio Chevronの活動は期待外れ」

「全国商業サービス商工会（Consecomercio）」のGustavo Valecillos代表は、「Chevron」について

「実質的にChevronは彼らが持っている債権をこの国で回収しているだけであり、我々が期待したように経済を活性化させていない」「Chevronの活動は、石油産業が盛んな地域における経済を大きく活性化させると期待していた。しかし、実際のところ、そうはならなかった」との見解を示した。

社会

「タチラ州 豪雨災害で64軒が土砂崩れ」

前述の通り、MCM氏はタチラ州を遊説していたが、同州では豪雨災害が起きている地域もあった。

San Cristóbal市とCárdenas市は歴史的な豪雨に見舞われたようで、同地域の3500世帯が豪雨被害を受け、64世帯は土砂崩れで家が崩落したという。

ただし、現時点で豪雨による死者は確認していないようだ。

以上